

- び講演抄録集：191 頁，2021.
- 16) 日吉 巧：好中球エラスターゼの歯肉上皮バリア傷害作用による歯周炎重症化メカニズム解析．Sunstar Young Investigator Award 口演，第 64 回秋季歯周病学会学術大会，名古屋，2021 年 10 月 15 日，プログラムおよび講演抄録集：104 頁，2021.
 - 17) シリセーリイパップ クリタパット，田村 光，前川知樹，多部田康一：老齢マウスにおける DEL-1 を介した骨代謝機構の解析．第 64 回秋季歯周病学会学術大会，名古屋，2021 年 10 月 15 日，プログラムおよび講演抄録集：143 頁，2021.
 - 18) 峯尾修平，高橋直紀，多部田康一：超音波スケーラーから発生するエアロゾル特性と口腔内外吸引装置による拡散防止効果①－感水試験紙を用いた飛散方向および距離の検討－．第 64 回秋季日本歯周病学会学術大会，名古屋，2021 年 10 月 15 日，プログラムおよび講演抄録集：132 頁，2021.
 - 19) 高橋直紀，峯尾修平，多部田康一：超音波スケーラーから発生するエアロゾル特性と口腔内外吸引装置の拡散防止効果②－小粒径エアロゾルの粒径分布とその吸引効果の検討－．第 64 回秋季日本歯周病学会学術大会，名古屋，2021 年 10 月 15 日，プログラムおよび講演抄録集：134 頁，2021.
 - 20) 高橋直紀，山縣貴幸，峯尾修平，加藤光太，多部田康一：超音波スケーラーから発生するエアロゾルに対する吸引装置の飛散防止効果－流体力学および模擬臨床的検討－．第 155 回日本歯科保存学会 2021 年度秋季学術大会，web 開催，2021 年 10 月 28 日～11 月 10 日，プログラムおよび講演抄録集：45 頁，2021.
 - 21) 日吉 巧，土門久哲，前川知樹，田村 光，笹川花梨，多部田康一：エラスターゼの歯肉上皮バリア傷害作用を介した歯周組織破壊機序の解析．第 155 回日本歯科保存学会 2021 年度秋季学術大会，web 開催，2021 年 10 月 28 日～11 月 10 日，プログラムおよび講演抄録集：118 頁，2021.
 - 22) 田村 光，前川知樹，土門久哲，日吉 巧，多部田康一：老齢マウスにおける DEL-1 を介した骨代謝機構の制御．第 155 回日本歯科保存学会 2021 年度秋季学術大会，web 開催，2021 年 10 月 28 日～11 月 10 日，プログラムおよび講演抄録集：119 頁，2021.
 - 23) 小林亮太，干川絵美，佐藤大祐，Orakarn Suebsamarn，内藤絵里子，鈴木絢子，富原 圭，泉 健次：細胞品質評価ツールとして口腔粘膜角化細胞に対する非侵襲的運動能測定の有用性に関する検討．第 57 回日本口腔組織培養学会学術大会・総会，web 開催，2021 年 11 月 6 日，プログラムおよび講演抄録集：3 頁，2021.
 - 24) 平山 悟，土門久哲，日吉 巧，磯野俊仁，田村 光，笹川花梨，滝澤史雄，寺尾 豊：肺炎球菌トリオースリン酸イソメラーゼは宿主プラスミノーゲンに結合し活性化を促進する．第 95 回日本細菌学会総会，web 開催，令和 4 年 3 月 29～31 日，プログラムおよび講演抄録集：96 頁，2021.
 - 25) 土門久哲，磯野俊仁，日吉 巧，田村 光，笹川花梨，前川知樹，平山 悟，柳原克紀，寺尾 豊：肺炎球菌ニューモリシンの発現に対するマクロライドの作用解析．第 95 回日本細菌学会総会，web 開催，令和 4 年 3 月 29～31 日，プログラムおよび講演抄録集：105 頁，2021.
- 【受賞】
- 1) 日吉 巧：好中球エラスターゼによる歯周炎重症化メカニズム解析と新規治療法への応用．新潟歯学会 2020 年度新潟歯学会学術賞（歯学会奨励賞），2021 年 4 月 17 日．
 - 2) 小林哲夫：関節リウマチ患者における歯周炎症表面積と好中球細胞外トラップ血清濃度および疾患活動度との関連．第 65 回日本リウマチ学会総会・学術集会 秀逸ポスター賞，2021 年 4 月 26 日．
 - 3) 田村 光：エリスロマイシンの DEL-1 誘導による骨免疫制御作用の解析．日本骨免疫学会 優秀演題賞，2021 年 6 月 30 日．
- 【その他】
- 1) 小林哲夫：「歯周病と身体の病の関係」．健康カプセル！ゲンキの時間（TBS 系全国ネット・CBC 発），2021 年 6 月 20 日．
 - 2) 高橋直紀：「知っていますか？歯周病が全身に及ぼす影響－栄養と歯周病・全身疾患の関わり－」．株式会社オクタウェル管理栄養士スキルアップセミナー，web 開催，2021 年 6 月 26 日．
 - 3) 小林哲夫：「関節リウマチと歯周病の関わり」．第 7 回若手膠原病セミナー，web 開催，2021 年 11 月 30 日．
- 歯科矯正学分野**
- 【論文】
- 1) Kudo T, Kawasaki M, Kawasaki K, Meguro F, Nihara J, Honda I, Kitamura M, Fujita A, Osawa K, Ichikawa K, Nagai T, Ishida Y, Sharpe PT, Maeda T, Saito I, Ohazama A. Ift88 regulates enamel formation via involving Shh signaling. Oral Dis. In Press.2022.
 - 2) Yamada Y, Nihara J, Trakanant S, Kudo T, Seo K, Iida I,

Izumi K, Kurose M, Shimomura Y, Terunuma M, Maeda T, Ohazama A. Perivascular Hedgehog responsive cells play a critical role in peripheral nerve regeneration via controlling angiogenesis. *Neurosci Res.* Dec;173:62-70. 2021.

- 3) Nihara J, Kawasaki M, Kawasaki K, Yamada A, Meguro F, Kudo T, Trakanant S, Nagai T, Saito I, Maeda T, Ohazama A. Expression of R-spondins/Lgrs in development of movable craniofacial organs. *Gene Expr Patterns.* 41:119195. 2021.
- 4) Mizukoshi, M., Kaku, M., Thant, L, Kitami K, Arai M, Saito I, Uoshima K: In vivo cell proliferation analysis and cell-tracing reveal the global cellular dynamics of periodontal ligament cells under mechanical-loading. *Sci Rep* 11, 9813, 2021.
- 5) Kawamura T, Fukui T, Nishiyama H, Kobayashi T, Takagi R, Hayashi T, Saito I: Three-dimensional analysis of the temporal bone and mandibular morphology in mandibular prognathism with facial asymmetry. *Oral Sci Int.* 00:1-8, 2021.
- 6) Al-Gunaid Talat Hasan, Sunitan Abdullah Khaled, Alharbi Abdullah Bader, Alhrbei Emad Aki, Saito Isao: Relationship between mandibular dimensions and bite force: an exploratory study. *Orthod Waves* 80(3): 117-123, 2021.
- 7) Al-Gunaid Talat Hasan, Alrhile Adel Suliman, Alharb Rayan Humaidan, Almalki Abdullah Ahmad, Saito Isao: Relationship between dental arch dimensions and bite force: a pilot study. *Turk J Orthod* 2021.
- 8) 齋藤 功, 丹原 惇, 高橋功次朗, 竹山雅規: 外科的矯正治療の普及と質担保—保険適用から 30 年—。日顎変形誌 31 (4) : 187-189 頁, 2021.
- 9) 眞舘幸平, 丹原 惇, 高橋功次朗, 佐藤知弥子, 坂上 馨, 竹山雅規, 齋藤 功: 新潟大学医歯学総合病院矯正歯科における初診患者の臨床統計調査—2005 年から 2017 年の 13 年間のデータをもとに—。新潟歯学会誌 51 (2) : 79-87 頁, 2021.

【商業誌】

- 1) 齋藤 功: 公益社団法人日本矯正歯科学会 学術大会運営委員会委員長 齋藤 功委員長に聞く。「ウィズコロナで変容する学術大会—WEB 開催のメリットとデメリット, 今後の展望」。月刊『DENTAL VISION』, 2021 年 10 月号, 18 頁, シエン社, 2021.

【研究費獲得】

- 1) 高橋 功次朗: 口腔機能発達不全の“定量化”: エラ

ストグラフィによる咀嚼機能評価法の確立。日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究, 21K17180, 2021.

- 2) 北見公平: 力学的刺激による歯根膜の階層的細胞応答メカニズムの解明。日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究, 21K17179, 2021.
- 3) 大澤 知朗: 中顔面形成における microRNA の機能解析。日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究, 21K17157, 2021.
- 4) 水越 優: 矯正力に誘導される破歯細胞の供給ならびに分化成熟動態の解明。日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 21K17155, 2021.
- 5) 工藤武久: 歯の発生における活性酸素の役割。日本学術振興会科学研究費補助金 研究活動スタート支援, 21K21004, 2021.
- 6) 丹原 惇, 大峽 淳, 齊藤一誠: 舌誘導メカニズムの解明。日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C), 20K10156, 2020.
- 7) 大竹正紀: ストレス誘発性の顎顔面痛を軽減する COX 阻害剤の新たな役割。日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究, 20K18453, 2020.
- 8) 北見公平: 矯正力に対する歯根膜の部位特異的な組織応答メカニズムの解明。日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究, 19K19288, 2020.
- 9) 上村藍太郎: 内因性カンナビノイド機構の中枢性制御に着目した神経障害性疼痛の新規治療戦略。日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究, 20K18688, 2020.
- 10) 河村智子: 口腔がんの遊離と浸潤を抑制する新規治療標的の同定。日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究, 20K18472, 2020.
- 11) 栗原加奈子: 舌圧と口唇・頬圧の同時測定による骨格性開咬症の新たな機能的解析法の確立。日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究, 20K18662, 2020.
- 12) 藤田 瑛: 強直症の発症メカニズム解明。日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究, 20K18753, 2020.
- 13) 網谷季莉子: HIF1 α 活性化剤のびらん性・潰瘍性口内炎に対する新規治療薬として有効性検証。日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究, 20K18471, 2020.
- 14) 水越 優: 矯正歯の移動に寄与する歯根膜幹細胞の新規同定法の開発。日本学術振興会科学研究費補助金 研究活動スタート支援, 20K23023, 2020.

- 15) (延長分) 大森裕子：安全な歯科治療のためのレオロジー-超音波で硬化を操る印象方法の開発-。平成 30 年度科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）若手研究，18k17279，2018。
- 16) (延長分) 竹山雅規，齋藤 功，丹原 惇，高橋功次郎：矯正-呼吸器内科連携による閉塞性睡眠時無呼吸発症・重症化リスク予測システムの開発。平成 30 年度科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）基盤研究（C），17K12042，2017。
- 17) (延長分) 高橋功次郎：口唇閉鎖機能の定量化による新治療目標への臨床応用。日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究(B)，17K17319，2017。

【招待講演・シンポジウム】

- 1) Saito I: Postsurgical morphological changes in complicated orthognathic cases and functional changes during swallowing in skeletal Class III by focusing on orofacial muscle activities and tongue pressure production. 2021 Taiwan Association of Orthodontists Annual Meeting (through online), December 4th -5th, 2021.
- 2) 齋藤 功：「適切な矯正歯科治療の再確認と今後の展望」。第 80 回大会 記念シンポジウム『日本の矯正歯科の未来』，第 80 回日本矯正歯科学会学術大会&第 5 回国際会議，横浜市，2021 年 11 月 3 日～11 月 5 日，抄録集：63 頁，2021。
- 3) 齋藤 功：臨床セミナー『全顎的治療における矯正歯科』，座長（コーディネーター），第 80 回日本矯正歯科学会学術大会&第 5 回国際会議，横浜市，2021 年 11 月 3 日～11 月 5 日，抄録集：83-86 頁，2021。
- 4) 齋藤 功：顎態と機能との関連性の追究 ～咀嚼能力および嚥下時筋活動と舌圧発現様相～。シンポジウム 7 「健康長寿社会における矯正歯科診療の役割を再考する -形態と機能への関与-」。第 24 回日本歯科医学会学術大会，2021 年 9 月 23 日～25 日（オンライン開催；Live 配信），抄録集：80 頁，2021。
- 5) 小林正治，齋藤 功：シンポジウム 2 「顎変形症患者における心身医学的背景」オーガナイザー，第 36 回日本歯科心身医学会総会・学術大会（Web 開催；Zoom を利用したオンライン会議形式），2021 年 6 月 19 日～20 日，抄録集：24-29 頁，2021。
- 6) 濱田良樹，齋藤 功：シンポジウム 5 「アジアにおける顎変形症治療の up-to-date」コーディネーター，第 31 回日本顎変形症学会総会・学術大会，仙台市，2021 年 6 月 11 日～12 日，日顎変形誌 31(2)：81-87 頁，2021。
- 7) 奥本隆行，齋藤 功：「多施設共同研究の必要性和実践-Japancleft 委員会の活動-」。シンポジウム 3 「Japancleft について考える」コーディネーター。第 45 回日本口蓋裂学会総会・学術集会（Web 開催；ライブ・オンデマンド配信）2021 年 5 月 20 日～21 日，日口蓋誌 46(2)：69-73 頁，2021。

【学会発表】

- 1) Salazar ARE, Kodama Y, Yuki R, Ominato R, Ichikawa K, Nihara J, Saito I, Takagi R: Occlusal evaluation using modified huddart and bodenham scoring system following two-stage palatoplasty with hotz plate: the comparison between three different surgical protocols. 25th Congress of the European Association for Cranio Maxillo Facial Surgery virtual congress, July 14-16, 2021.
- 2) Kodama Y, Yuki R, Salazar ARE, Ominato R, Nagai T, Yamada A, Kogbayshi R, Ichikawa K, Nihara J, Saito I, Kobayashi T, Takagi R: Preliminary study of the Occlusal Evaluation using Three-Dimensional Digital Model for Japanese UCLP Patients: Comparative Validation with Plaster Model. 25th Congress of the European Association for Cranio Maxillo Facial Surgery virtual congress, July 14-16, 2021.
- 3) Yamaguchi H, Kitami K, He L, Ono T, Komatsu Y. DNA damage response pathways are critical in palatogenesis. EOS Annual Virtual Conference, July 2-3, 2021
- 4) 吉田智美，竹山雅規，網谷季莉子，長谷部大地，小林正治，齋藤 功：口腔内装置（OA）を用いた閉塞性睡眠時無呼吸（OSA）患者における顎顔面構造。第 20 回日本睡眠歯科学会総会・学術集会，北九州市，2021 年 11 月 26 日～28 日，2021。
- 5) 竹内涼子，大湊麗，長谷部大地，丹原惇，竹山雅規，小林正治：鼻咽腔閉鎖機能不全を有する口蓋裂患者に対する顎矯正手術の検討。日本形成外科学会関東支部第 109 回新潟地方会，新潟市，2021 年 11 月 26 日，2021。
- 6) 新ちひろ，丹原 惇，西山秀昌，児玉泰光，大澤知朗，小林正治，齋藤 功：骨格性下顎前突症における上顎骨形態の三次元的解析。令和 3 年度第 2 回新潟歯学会例会，新潟市，2021 年 11 月 6 日，新潟歯学会雑誌 51(2)：124-125 頁，2021。
- 7) 栗原加奈子，大川純平，丹原 惇，高橋功次郎，堀一浩，長崎 司，福井忠雄，小野高裕，齋藤 功：嚥

- 下時の舌圧発現様相および顎顔面筋群筋活動は口蓋深さと関連する. 第 80 回日本矯正歯科学会学術大会&第 5 回国際会議, 横浜市, 2021 年 11 月 3 日~11 月 5 日, 同学術大会プログラム・抄録集: 136 頁, 2021.
- 8) 上村藍太郎, ホッサイン ザキール, 高橋功次朗, 北川純一, 齋藤 功: 内因性カンナビノイド分解酵素阻害剤による口腔顔面領域の神経障害性疼痛に対する鎮痛効果. 第 80 回日本矯正歯科学会学術大会&第 5 回国際会議, 横浜市, 2021 年 11 月 3 日~11 月 5 日, 同学術大会プログラム・抄録集: 135 頁, 2021.
 - 9) 河村智子, 福井忠雄, 西山秀昌, 小林正治, 高木律男, 林 孝文, 齋藤 功: 顔面非対称を伴う骨格性下顎前突症例における側頭骨部と下顎骨形態についての三次元分析. 第 80 回日本矯正歯科学会学術大会&第 5 回国際会議, 横浜市, 2021 年 11 月 3 日~11 月 5 日, 同学術大会プログラム・抄録集: 121 頁, 2021.
 - 10) 新井萌生, 北見公平, 加来 賢, 水越 優, Lay Thant, 岩間 基, 魚島勝美, 齋藤 功: 矯正的歯の移動時の歯根膜における SPARC の局在について. 第 80 回日本矯正歯科学会学術大会&第 5 回国際会議, 横浜市, 2021 年 11 月 3 日~11 月 5 日, 同学術大会プログラム・抄録集: 148 頁, 2021.
 - 11) 水越 優, 加来 賢, 北見公平, 新井萌生, 岩間基, 魚島勝美, 齋藤 功: マウス臼歯歯根膜における Label Retaining Cell の局在と特性. 第 80 回日本矯正歯科学会学術大会&第 5 回国際会議, 横浜市, 2021 年 11 月 3 日~11 月 5 日, 同学術大会プログラム・抄録集: 151 頁, 2021.
 - 12) 長崎 司, 栗原加奈子, 大川純平, 丹原 惇, 高橋功次朗, 堀 一浩, 福井忠雄, 小野高裕, 齋藤 功: 舌圧と顎顔面筋群筋活動の同時測定による骨格性下顎前突症の嚥下運動解析法. 第 80 回日本矯正歯科学会学術大会&第 5 回国際会議, 横浜市, 2021 年 11 月 3 日~11 月 5 日, 同学術大会プログラム・抄録集: 180 頁, 2021.
 - 13) 岩間 基, 北見公平, 加来 賢, Lay Thant, 新井萌生, 水越 優, 魚島勝美, 齋藤 功: 加齢によるマウス臼歯の有細胞セメント質表層に生じる無細胞セメント質様組織の解析. 第 80 回日本矯正歯科学会学術大会&第 5 回国際会議, 横浜市, 2021 年 11 月 3 日~11 月 5 日, 同学術大会プログラム・抄録集: 147 頁, 2021.
 - 14) Lay THANT, Msaru KAKU, Yoshito KAKIHARA, Msaru MIZUKOSHI, Kohei KITAMI, Katsumi UOSHIMA, Isao SAITO: Altered proteomic composition and collagen fiber organization in the periodontal ligament under orthodontic force. 第 80 回日本矯正歯科学会学術大会&第 5 回国際会議, 横浜市, 2021 年 11 月 3 日~11 月 5 日, 同学術大会プログラム・抄録集: 283 頁, 2021.
 - 15) 大森裕子, 丹原 惇, 高橋功次朗, 齋藤 功: 矯正歯科治療前後の赤唇形態変化. 第 36 回甲北信越矯正歯科学会学術大会, 2021 年 6 月 27 日, Web 開催 (同学術大会プログラム・抄録集 27 頁), 甲北信越矯正歯科学会雑誌 30 (1): 2022.
 - 16) 上村藍太郎, ザキル ホサイン, 高橋功次朗, 北川純一, 齋藤 功: 内因性カンナビノイド分解酵素阻害剤による口腔顔面領域の神経障害性疼痛に対する鎮痛効果の検討. 第 36 回甲北信越矯正歯科学会学術大会, 2021 年 6 月 27 日, Web 開催 (同学術大会プログラム・抄録集 26 頁), 甲北信越矯正歯科学会雑誌 30 (1): 2022.
 - 17) 河村智子, 齋藤 功: 叢生および下顎骨の軽度左方偏位を伴う Angle Class I 上下顎前突症例. 第 36 回甲北信越矯正歯科学会学術大会, 2021 年 6 月 27 日, Web 開催 (同学術大会プログラム・抄録集 32 頁), 甲北信越矯正歯科学会雑誌 30 (1): 2022.
 - 18) 上村藍太郎, 齋藤 功: 下顎骨軽度右方偏位を伴う Angle Class II 上顎前突症例. 第 36 回甲北信越矯正歯科学会学術大会, 2021 年 6 月 27 日, Web 開催 (同学術大会プログラム・抄録集 31 頁), 甲北信越矯正歯科学会雑誌 30 (1): 2022.
 - 19) 北見公平, 齋藤 功: 下顎骨の後退と右方偏位, 叢生を伴う Angle Class I 歯性上下顎前突症例. 第 36 回甲北信越矯正歯科学会学術大会, 2021 年 6 月 27 日, Web 開催 (同学術大会プログラム・抄録集 33 頁), 甲北信越矯正歯科学会雑誌 30 (1): 2022.
 - 20) 大森裕子, 竹山雅規, 齋藤 功: 下顎両側第二小臼歯の先天性欠如を伴う Angle Class II 過蓋咬合症例. 第 36 回甲北信越矯正歯科学会学術大会, 2021 年 6 月 27 日, Web 開催 (同学術大会プログラム・抄録集 36 頁), 甲北信越矯正歯科学会雑誌 30 (1): 2022.
 - 21) Lay Thant, 加来 賢, 柿原嘉人, 水越 優, 北見恩美, 北見公平, 小林大記, 吉田 豊, 魚島勝美, 齋藤 功, 佐伯万騎男: メカニカルストレス下における歯根膜細胞外基質タンパクのプロテオーム解析. 第 53 回日本結合組織学会学術大会, 2021 年 6 月 26 日~27 日, 東京.
 - 22) 本多綾子, 丹原 惇, 高橋功次朗, 高木律男, 小林正治, 齋藤 功: 骨格性下顎前突症における正

貌軟組織のパターン別術後変化. 第 31 回日本顎変形症学会総会・学術大会 (Webinar 開催), 仙台市, 2021 年 6 月 11 日～12 日, 日顎変形誌 31(2): 147, 2021.

- 23) 新ちひろ, 丹原 惇, 西山秀昌, 児玉泰光, 大澤知朗, 小林正治, 齋藤 功: 骨格性下顎前突症患者における上顎骨の携帯における三次元解析. 第 31 回日本顎変形症学会総会・学術大会 (Webinar 開催), 仙台市, 2021 年 6 月 11 日～12 日, 日顎変形誌 31(2): 117, 2021.
- 24) 児玉泰光, 小林亮太, 山田 茜, Andrea Rei Estacio Salazar, 結城龍太郎, 永井孝宏, 大湊麗, 池田順行, 市川佳弥, 丹原 惇, 新美奏恵, 若月華子, 宮田昌幸, 小野和宏, 齋藤 功, 小林正治, 高木律男: 新潟大学医歯学総合病院における新診療体制後の口唇口蓋裂患者動向調査. 第 45 回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 大阪市, 2021 年 5 月 20 日～21 日, 日口蓋誌 46(2) 抄録号: 133, 2021.
- 25) 市川佳弥, 丹原 惇, 寺田愛希, 宮田昌幸, 若月華子, 児玉泰光, 新美奏恵, 小林正治, 高木律男, 齋藤 功: 新潟大学医歯学総合病院での術前顎矯正治療における nasal stent の工夫. 第 45 回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 大阪市, 2021 年 5 月 20 日～21 日, 日口蓋誌 2021;46(2):122, 2021.
- 26) 新美奏恵, 齋藤大輔, 須田大亮, 原 太一, 齋藤直朗, 長谷部大地, 佐久間英伸, 片桐 涉, 齋藤功, 小林正治: 日本語版顎変形症疾患特異的 QOL 調査票の validation study および健康関連 QOL との関連性の検討. 第 75 回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会, 豊中市, 2021 年 5 月 12 日～14 日, 2021.
- 27) Hasegawa M, Otake M, Kamimura R, Saito I, Fujii N, Yamamura K, Okamoto K: Inhibitory effects of daily treadmill running on orofacial hyperalgesia under psychosocial stress conditions in male mice. 第 126 回日本生理学会・第 98 回解剖学会合同大会 (Web 開催), 2021 年 3 月 28 日～30 日, 2021.

【研究会発表】

- 1) 大森 裕子, 高橋 功次朗, 丹原 惇, 齋藤 功, 川合 巳佳, 三俣 哲: 安全な歯科治療のためのレオロジー-超音波で硬化を操る印象法の開発-. 第 13 回サクラン研究会年次学術集会 (Webinar 開催), 金沢, 2021 年 11 月 13 日.

- 2) 吉田智美, 竹山雅規, 網谷季莉子, 長谷部大地, 小林正治, 齋藤 功: 口腔内装置 (OA) を用いた閉塞性睡眠時無呼吸 (OSA) 患者における顎顔面構造および咬合の経時的変化. 第 17 回新潟睡眠呼吸障害研究会 (オンライン開催), 令和 3 年 9 月 11 日.

【受賞】

- 1) 栗原加奈子, 大川純平, 丹原 惇, 高橋功次朗, 堀一浩, 長崎 司, 福井忠雄, 小野高裕, 齋藤 功: 嚥下時の舌圧発現様相および顎顔面筋群筋活動は口蓋深さと関連する. 優秀演題賞, 第 80 回日本矯正歯科学会学術大会&第 5 回国際会議, 2021 年 11 月 3 日-11 月 5 日.
- 2) 長崎 司, 栗原加奈子, 大川純平, 丹原 惇, 高橋功次朗, 堀 一浩, 福井忠雄, 小野高裕, 齋藤 功: 舌圧と顎顔面筋群筋活動の同時測定による骨格性下顎前突症の嚥下運動解析法. 優秀演題賞, 第 80 回日本矯正歯科学会学術大会&第 5 回国際会議, 2021 年 11 月 3 日-11 月 5 日.

【その他】

- 1) 市川佳弥: 「論文紹介: 新潟大学医歯学総合病院において PNAM 治療を行った片側性口唇口蓋裂患児における外鼻形態変化の短期的評価.」口演, 第 9 回夏の口唇裂・口蓋裂勉強会 (オンライン開催). 2021 年 8 月 26 日
- 2) 長崎 司: 骨格性下顎前突症患者における嚥下時舌圧発現様相および顎顔面筋群筋活動の検討. 新潟歯学会雑誌 51(2): 33-34 頁, 2021.

摂食嚥下リハビリテーション学分野

【著書】

- 1) 井上 誠: 第 4 章災害食の栄養・機能 口腔ケアと誤嚥性肺炎. 災害食の事典, 株式会社朝倉書店, 東京, 印刷中.
- 2) 井上 誠: 第 4 章嚥下と嘔吐. 1. 嚥下. 最新歯科衛生士教本「口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学第 2 版」(一般社団法人全国歯科衛生士教育協議会監修), 医歯薬出版株式会社, 東京, 233-242, 2022. 3.
- 3) 井上 誠: 1. 咀嚼と口腔機能-嚥下との関わり. 咀嚼・嚥下・誤嚥性肺炎に関わる基礎知識. JOHNS 耳鼻咽喉科・頭頸部外科, 株式会社東京医学社, 東京, 印刷中.